

平成24年度 1月 経営の重点

【通うだけで楽しくてしかたがない、通うだけで助け合う力が育つ「伝説の学校」をつくらう！】

- 学校教育目標・・・「自主貢献」－自主的に行動し、助け合える生徒の育成－
- 目指す生徒像・・・的確に判断できる生徒、自主的に行動できる生徒、助け合いができる生徒
- 目指す教師像・・・一番好きになる教師、気持ちがわかる教師、学び続ける教師
- 3つの重点目標・・・プライド（12の実践）、学力向上（校内研究）、郷土愛（家庭・地域との連携）

12月の経営の重点は「振り返りと見直し」でした。

- 学校評価の実施・・・実施した学校評価の結果から課題が可視化できたでしょうか？
- 目標申告の進捗状況面接の実施・・・三学期の自身の行動目標がつけられたでしょうか？
- 平成25年度教育課程の検討会開催・・・学校の特色は教育課程に表れます。本校の教育課程の改善点を担当者としてクリアにできたでしょうか？
- 教科・学級・部活動の振り返り・・・3学期の行動目標は設定できたでしょうか？

（1月の経営の重点） 「拘り」と「小さな徹底」

年度末を見通し工夫しなければならないことや問題点についてそれぞれ振り返りができたと思います。今月は以下のような問いかけから出てきた具体的な改善策を実行に移す月です。

- ・学級目標や学年目標、学校教育目標に迫るために、湖北中12のプライドを達成する何をすべきか？
- ・学力向上を目指した授業改善のために何をしなければならないか？
- ・家庭学習の時間をどう確保するのか？
- ・校内のさまざまなルールをどう守らせていくのか？
- ・学級、学年での役割をどう果たさせるのか？
- ・部活動の活動状況を改善するために何をするのか？
- ・長欠生徒の解消に向けて何をすべきか？

視点を変えて「振り返り」をすれば、やらなければならないことがいくらかでも出てきます。しかし考えただけ、書き出しただけでは何も変わりません。「行動可能な改善策」を丁寧にひとつひとつ実践を重ねていくしかありません。「知覚動考」（ともかくうごこう）です！その結果が「変化」となって表れてきます。「行動可能な改善策」を作るのはそれほど難しいことはありません。例えば、「ゴミのないきれいな教室にするために授業のはじめにゴミを拾おう！」という改善策を立てたとします。そうしたら個々にゴミを拾うのです。拾うゴミがなければ違う作業をするのです。ロッカー整理整頓をするのです。それが自然にできるまで続けるのです。最後は何もすることがなくなるまで続けるのです。教室が2週間で変わります。我々教師はそれを支援すればよいのです。事実を認め、評価し、場を設定するのです。やっていること（ゴミを一つ拾う、なければ、ロッカーを整頓する）は誰にでもできることです。でも誰にもできないぐらいやるのです。（続ける、みんながやる、毎時間やる等）一日一日を着実に積み重ねていくのです。そうすれば全校で一番きれいな教室に必ずなります。今を一生懸命生きる勉強です。今月は、いろいろな一番を全校の中に創り出したいと思います。クラスの誰に聞いても「うちのクラスは…」「うちの学年は…」「うちの部活は…」と答えられるような取り組みを推進して生きたいのです。

「誰でもできることを誰にもできないぐらいやり抜く！」ことで集団の中に沢山の一番を作ってほしいのです。ひとつのことに「拘り」、できるだけ「ちいさな徹底」を図っていきたいのです。

- 行動可能な改善策の明示・・・自分たちが取り組んでいることを掲示する。学年の取り組みは、学年掲示板に、学級の取り組みは、教室掲示で、部活動の取り組みは、部活黒板に、委員会は各教室の委員会掲示で、それぞれの取り組みを明示し、誰が見てもわかるようにすることが第一歩です。
- 毎日の 評価の継続・・・決めたことを毎日帰りの会で評価する、部活の最後に評価する、放送で、掲示でその評価を伝えるのです。宣言するのです。できるだけやり通すのです。